



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月27日

上場会社名 キムラユニティー株式会社  
 コード番号 9368 URL <https://www.kimura-unity.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 昭二

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小山 幸弘

TEL 052-962-7053

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日

2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	51,782	4.7	2,434	4.7	2,812	2.1	1,603	3.3
2020年3月期	54,309	2.8	2,555	14.6	2,754	13.2	1,657	14.2

(注) 包括利益 2021年3月期 2,646百万円 (232.5%) 2020年3月期 795百万円 (20.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	132.86		5.6	5.3	4.7
2020年3月期	137.33		6.1	5.3	4.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 231百万円 2020年3月期 198百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	54,061	30,736	54.4	2,437.90
2020年3月期	52,561	28,763	52.3	2,277.23

(参考) 自己資本 2021年3月期 29,421百万円 2020年3月期 27,482百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,238	402	928	7,956
2020年3月期	3,805	1,597	794	6,035

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		16.00		22.00	38.00	458	27.7	1.7
2021年3月期		19.00		21.00	40.00	482	30.1	1.7
2022年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		24.1	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,500	15.4	1,300	128.6	1,350	126.4	800	178.9	66.28
通期	56,000	8.1	2,800	15.0	3,200	13.8	2,000	24.7	165.72

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	12,070,000 株	2020年3月期	12,070,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,749 株	2020年3月期	1,749 株
期中平均株式数	2021年3月期	12,068,251 株	2020年3月期	12,068,251 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	43,165	0.2	1,770	15.2	2,286	7.4	1,457	8.5
2020年3月期	43,080	1.6	1,536	4.0	2,469	30.6	1,592	27.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	120.78	
2020年3月期	131.93	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	48,488	27,813	57.4	2,304.66
2020年3月期	46,743	26,410	56.5	2,188.42

(参考) 自己資本 2021年3月期 27,813百万円 2020年3月期 26,410百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2の「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の期末決算に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載しております。なお、前連結会計年度及び前連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結の範囲に関する事項) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(連結損益計算書関係) .....	13
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、国内では新型コロナウイルス感染症の長期化、再拡大の影響により、企業収益は大幅な減少が継続する中、雇用環境の悪化や設備投資の減少の動きもみられ、個人消費の低迷や輸出の減少等、景気は厳しい状況で推移致しました。海外においても国内同様、欧米、アジア等を中心に景気減速が回復するに至らず、引き続き厳しい状況のなか、先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループと関係の深い自動車業界でも、国内外で加速しているCASE(コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)への取り組み等の「100年に1度の大変革期」を迎える中、新型コロナウイルスの感染拡大により、欧米、アジア等の主要国・地域での需要が減少していることから、引き続き厳しい状況のなか、先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、第2四半期以降、海外では中国の急ピッチな回復による収益の改善、国内においても自動車関連を中心とした主要顧客の予想以上の回復による受注量の増加に加え、「全員参画ワンチーム経営」の展開による日々の収益改善が進み利益率の改善が図られてきたものの、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、売上高は51,782百万円(前年同期比4.7%減収)となり、営業利益も2,434百万円(前年同期比4.7%減益)となりました。

経常利益は為替差益の計上等により2,812百万円(前年同期比2.1%増益)となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は法人税等調整額の増加等により1,603百万円(前年同期比3.3%減益)となりました。

なお、主なセグメント別の売上高(セグメント間の内部売上を含む)、営業利益の状況は次の通りであります。

#### ①物流サービス事業

売上高は、国内包装事業において関東地区の受注量の増加要因はあったものの、国内外共に新型コロナウイルス感染症の影響により、35,885百万円(前年同期比4.7%減収)、営業利益は包装事業において中国子会社天津木村進和物流有限公司、広州広汽木村進和倉庫有限公司での業績改善はありましたが、北米子会社KIMURA, INC.の収益悪化等により、3,045百万円(前年同期比1.6%減益)となりました。

#### ②自動車サービス事業

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来店顧客の減少に伴う車両販売における国内子会社株式会社スーパージャンボの販売台数の減少等により、14,277百万円(前年同期比4.2%減収)となりました。営業利益は原価削減効果等により545百万円(前年同期比8.6%増益)となりました。

#### ③情報サービス事業

売上高は、主要顧客からのシステム開発延期の要請等もあり、1,409百万円(前年同期比11.0%減収)となりました。営業利益は売上高の減収等により103百万円(前年同期比23.3%減益)となりました。

#### ④人材サービス事業

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先での要員調整、採用見直し等が発生する中、積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、593百万円(前年同期比5.5%増収)となりました。営業利益は営業体制強化に伴う人件費の増加等もあり14百万円(前年同期比34.7%減益)となりました。

#### ⑤その他のサービス事業

売上高は、売電サービスにより、45百万円(前年同期比1.6%減収)となりました。営業利益は11百万円(前年同期比14.1%減益)となりました。

なお、北米子会社、中国子会社の決算期は2020年12月31日であります。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は54,061百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,499百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産が現金及び預金の増加等により1,323百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は23,325百万円となり、前連結会計年度末に比較して472百万円の減少となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債が1,000百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して1,972百万円増加の30,736百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.1ポイント上昇の54.4%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期に比較して1,921百万円増加の7,956百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,238百万円の収入で、前期比566百万円の収入減少となりました。

この主な要因は、税金等調整前当期純利益の増加及び利息及び配当の受取額の減少等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、402百万円の支出で、前期比1,195百万円の支出減少となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、928百万円の支出で、前期比133百万円の支出増加となりました。

この主な要因は、リース債務の返済による支出の増加及び配当金の支払額の増加等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症による影響は、依然として世界規模で大変大きな爪痕を残し、当社グループと関係の深い自動車業界においても甚大な影響が続いており、世界規模での経済活動の停滞は長期化の様相を呈しております。当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、国内での労働人口の減少等による労働力不足や、海外では依然として、米中問題や日本と近隣諸国の摩擦拡大等の地政学リスクなどもあることから、より一層厳しい経営環境となるものと考えております。

このような経営環境の中ではありますが、当社グループは3月26日に、2023年度（2024年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2023」を公表し、次なる成長ステージを目指す為の足掛かりとして、プラス志向で、主体性とスピード感のある取り組みを展開・実施してまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高56,000百万円（前期比8.1%増収）、営業利益2,800百万円（前期比15.0%増益）、経常利益3,200百万円（前期比13.8%増益）、親会社に帰属する当期純利益2,000百万円（前期比24.7%増益）と増収増益を目指してまいります。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次のとおりであります。

## ①物流サービス事業

情報サービス事業との連携強化やエリア戦略をベースとした新規拡販活動による営業力強化、国内子会社ビジネスピープルとの連携による新しいビジネスモデルの展開、公共サービスに特化した事業領域への積極的な拡販活動を推進することから、売上高は39,130百万円（前期比9.0%増収）、営業利益は3,300百万円（前期比8.3%増益）を予想しております。

## ②自動車サービス事業

「B to B（法人向けサービス）」では、エリア戦略による新規拡販やフリート戦略（車両管理機能の強化等）による既存顧客の拡販、また、「B to C（個人向けサービス）」では、ネットを活用したビジネス展開の強化や来店型店舗への変革等による拡販活動を推進することから、売上高は14,565百万円（前期比2.0%増収）、営業利益は700百万円（前期比28.3%増益）を予想しております。

## ③情報サービス事業

物流サービス事業と連携した拡販活動による営業機能強化や、将来を見据えた採用機能の強化及び持続的成長を実現する育成機能強化へ取り組むとともに、物流サービス事業に特化した「生産・物流」に関するシステム企画提案活動を積極的に推進することから、売上高は1,680百万円（前期比19.2%増収）、営業利益は170百万円（前期比63.9%増益）を予想しております。

## ④人材サービス事業

物流サービス事業と人材サービス事業の連携による相乗効果を通じて、人材を生かしたお客様への価値提供を行うとともに、国内子会社ビジネスピープル株式会社におけるキムラユニティグループへのタイムリーでスピーディーな人材戦略を展開するため、関東・中部・関西におけるエリアでの採用強化や営業展開を推進することから、売上高は1,380百万円（前期比132.4%増収）、営業利益は80百万円（前期比446.3%増益）を予想しております。

## ④その他サービス事業

その他のサービス事業は、売上高45百万円（前期比1.7%減収）、営業利益15百万円（前期比28.2%増益）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、特に、当社と同じ東証一部に上場している他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえた上で、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,505	8,426
受取手形及び売掛金	8,353	8,461
リース投資資産	8,975	8,521
商品及び製品	566	420
仕掛品	27	115
原材料及び貯蔵品	366	184
その他	898	886
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,691	27,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,167	21,346
減価償却累計額	△11,966	△12,668
建物及び構築物(純額)	9,200	8,678
機械装置及び運搬具	2,171	2,190
減価償却累計額	△1,669	△1,720
機械装置及び運搬具(純額)	501	469
賃貸資産	1,312	1,311
減価償却累計額	△866	△835
賃貸資産(純額)	446	475
リース資産	781	1,280
減価償却累計額	△405	△483
リース資産(純額)	376	797
土地	6,805	6,795
建設仮勘定	207	117
その他	2,435	2,763
減価償却累計額	△1,613	△1,723
その他(純額)	821	1,040
有形固定資産合計	18,359	18,374
無形固定資産		
のれん	62	45
その他	786	945
無形固定資産合計	848	991
投資その他の資産		
投資有価証券	4,002	4,840
繰延税金資産	841	253
その他	2,854	2,613
貸倒引当金	△37	△29
投資その他の資産合計	7,661	7,679
固定資産合計	26,869	27,045
資産合計	52,561	54,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,069	1,071
短期借入金	805	760
1年内返済予定の長期借入金	2,000	1,000
未払金	3,268	3,214
未払費用	2,499	2,830
リース債務	336	423
未払法人税等	607	539
賞与引当金	1,122	1,159
役員賞与引当金	50	30
その他	948	1,058
流動負債合計	12,706	12,088
固定負債		
長期借入金	2,000	3,000
長期未払金	5,916	5,571
リース債務	699	1,185
退職給付に係る負債	1,215	214
再評価に係る繰延税金負債	874	874
その他	385	390
固定負債合計	11,091	11,236
負債合計	23,797	23,325
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,580	3,580
資本剰余金	3,444	3,444
利益剰余金	20,217	21,325
自己株式	△1	△1
株主資本合計	27,240	28,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	961	1,401
土地再評価差額金	534	534
為替換算調整勘定	△30	△264
退職給付に係る調整累計額	△1,223	△600
その他の包括利益累計額合計	242	1,072
非支配株主持分	1,281	1,314
純資産合計	28,763	30,736
負債純資産合計	52,561	54,061



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	54,309	51,782
売上原価	44,847	42,439
売上総利益	9,462	9,343
販売費及び一般管理費	6,906	6,908
営業利益	2,555	2,434
営業外収益		
受取利息	31	40
受取配当金	63	62
受取手数料	5	5
為替差益	-	52
持分法による投資利益	198	231
雇用調整助成金	-	52
その他	40	39
営業外収益合計	338	485
営業外費用		
支払利息	73	83
為替差損	57	-
貸倒損失	0	0
雑損失	-	11
その他	7	12
営業外費用合計	139	107
経常利益	2,754	2,812
特別利益		
固定資産売却益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除却損	63	19
減損損失	70	-
その他	0	2
特別損失合計	133	21
税金等調整前当期純利益	2,623	2,793
法人税、住民税及び事業税	971	897
法人税等調整額	△167	108
法人税等合計	804	1,006
当期純利益	1,819	1,787
非支配株主に帰属する当期純利益	162	183
親会社株主に帰属する当期純利益	1,657	1,603

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,819	1,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	439
為替換算調整勘定	△122	△101
退職給付に係る調整額	△602	623
持分法適用会社に対する持分相当額	△170	△102
その他の包括利益合計	△1,023	859
包括利益	795	2,646
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	675	2,433
非支配株主に係る包括利益	120	212

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,580	3,444	18,981	△1	26,004
当期変動額					
剰余金の配当			△422		△422
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,657		1,657
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,234	-	1,234
当期末残高	3,580	3,444	20,217	△1	27,240

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差 額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	1,088	534	221	△621	1,224	1,294	28,523
当期変動額							
剰余金の配当							△422
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,657
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△127		△252	△602	△981	△13	△995
当期変動額合計	△127	-	△252	△602	△981	△13	239
当期末残高	961	534	△30	△1,223	242	1,281	28,763

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,580	3,444	20,217	△1	27,240
当期変動額					
剰余金の配当			△494		△494
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,603		1,603
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,108	-	1,108
当期末残高	3,580	3,444	21,325	△1	28,348

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差 額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	961	534	△30	△1,223	242	1,281	28,763
当期変動額							
剰余金の配当							△494
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,603
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	439		△233	623	830	33	863
当期変動額合計	439	-	△233	623	830	33	1,972
当期末残高	1,401	534	△264	△600	1,072	1,314	30,736

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,623	2,793
減価償却費	1,530	1,539
減損損失	70	-
のれん償却額	34	15
持分法による投資損益(△は益)	△198	△231
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	151	33
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	20	△20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△241	△101
受取利息及び受取配当金	△94	△102
支払利息	177	182
為替差損益(△は益)	56	△22
有形固定資産売却益	△184	△241
有形固定資産売却損益(△は益)	1	1
有形固定資産除却損	62	18
売上債権の増減額(△は増加)	294	△100
たな卸資産の増減額(△は増加)	7	233
リース投資資産の増減額(△は増加)	58	110
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△71	△42
仕入債務の増減額(△は減少)	△214	10
その他の流動負債の増減額(△は減少)	565	532
長期未払金の増減額(△は減少)	△280	△344
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△208	△111
小計	4,192	4,144
利息及び配当金の受取額	734	153
利息の支払額	△177	△182
法人税等の支払額	△944	△876
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,805	3,238
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,397	△493
有形固定資産の売却による収入	203	293
投資有価証券の取得による支出	△166	△41
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△237	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,597	△402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,600	3,000
短期借入金の返済による支出	△1,658	△3,000
長期借入れによる収入	1,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,000	△2,000
リース債務の返済による支出	△180	△254
配当金の支払額	△422	△494
非支配株主への配当金の支払額	△133	△179
財務活動によるキャッシュ・フロー	△794	△928
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,351	1,921
現金及び現金同等物の期首残高	4,684	6,035
現金及び現金同等物の期末残高	6,035	7,956

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(連結の範囲に関する事項)  
該当事項はありません。

(会計方針の変更)  
該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)  
該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、財務情報が入手可能であり、取締役会、全社執行役員会議において、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、各事業セグメント毎に事業本部又は事業部を構成し、各事業本部及び事業部は、取り扱う商品、製品、サービスについて国内及び海外の戦略の立案、それに伴う事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの取り扱う商品、製品、サービスを事業本部及び事業部別に区分し、「物流サービス事業」、「自動車サービス事業」、「情報サービス事業」、「人材サービス事業」の4つを報告セグメントとしております。

「物流サービス事業」は、包装、梱包、入出庫作業・格納器具製品製造等を行っております。「自動車サービス事業」は、自動車リース、車両整備、自動車販売、保険代理店等を行っております。「情報サービス事業」は、システム開発、包括保守及びネットワーク関連サービス等を行っております。「人材サービス事業」は、人材派遣サービス、アウトソーシングサービス等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

棚卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切下げ後の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額
	物流サービス 事業	自動車サービス 事業	情報サービス 事業	人材サービス 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	37,639	14,846	1,583	193	54,263	46	54,309	—	54,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52	—	369	422	—	422	△422	—
計	37,639	14,898	1,583	562	54,685	46	54,731	△422	54,309
セグメント利益	3,095	502	135	22	3,755	13	3,768	△1,213	2,555
セグメント資産	23,238	15,328	648	268	39,484	197	39,681	12,879	52,561
その他の項目									
減価償却費	954	427	13	2	1,397	30	1,427	103	1,530
減損損失	—	70	—	—	70	—	70	—	70
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,302	410	92	0	1,806	—	1,806	342	2,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,213百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分してい

ない全社費用△1,217百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。





## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,277円23銭	2,437円90銭
1株当たり当期純利益金額	137円33銭	132円86銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	1,657	1,603
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益金額(百万円)	1,657	1,603
期中平均株式数(株)	12,068,251	12,068,251

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

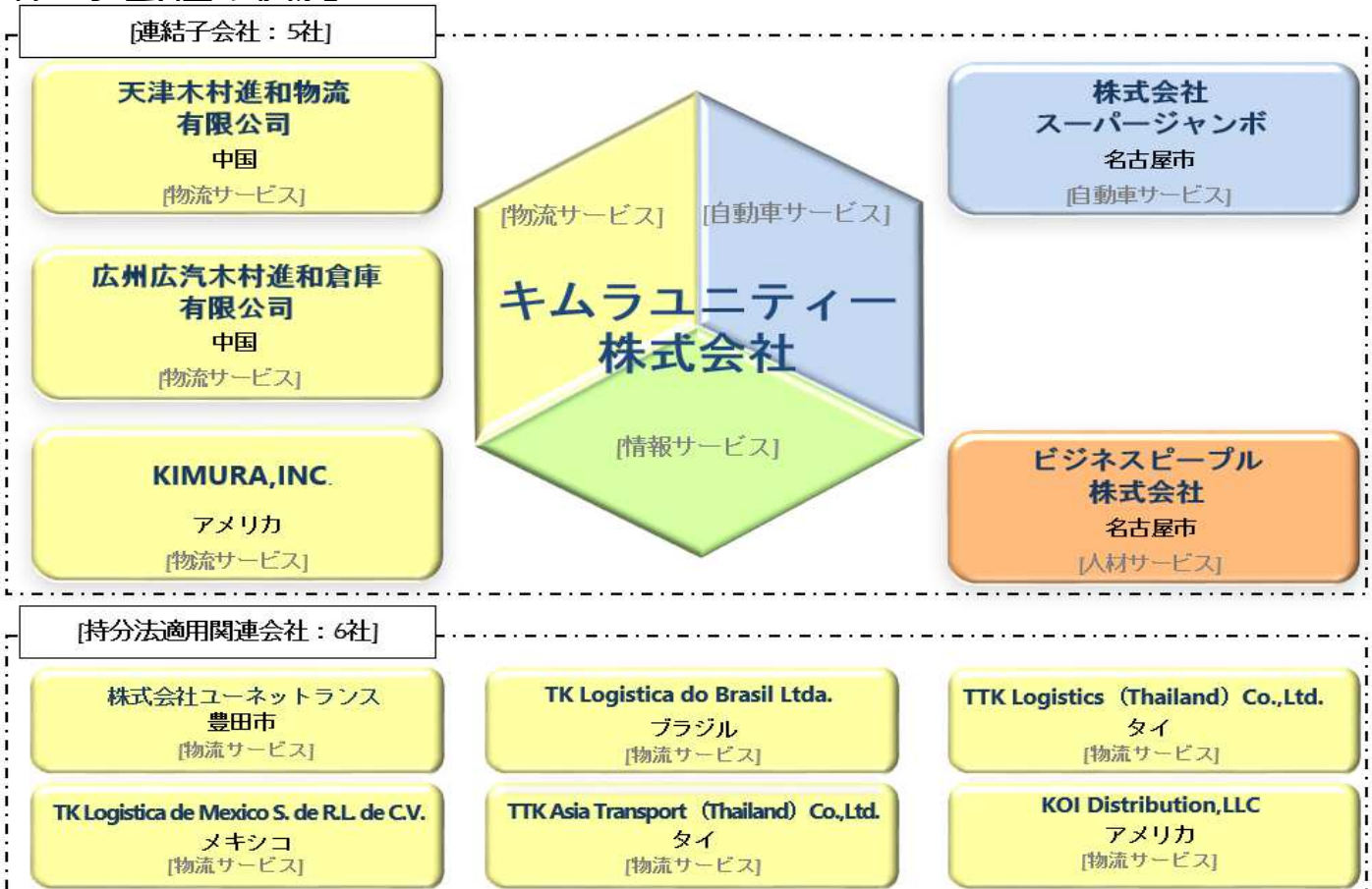
# 2021年3月期 決算発表 説明資料

2021年4月27日

本資料には現時点での将来の予測数値が含まれていますが、  
実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご注意ください。

## グループ会社の状況

※前期末からの変動はありません。



# 1. 連結決算の実績

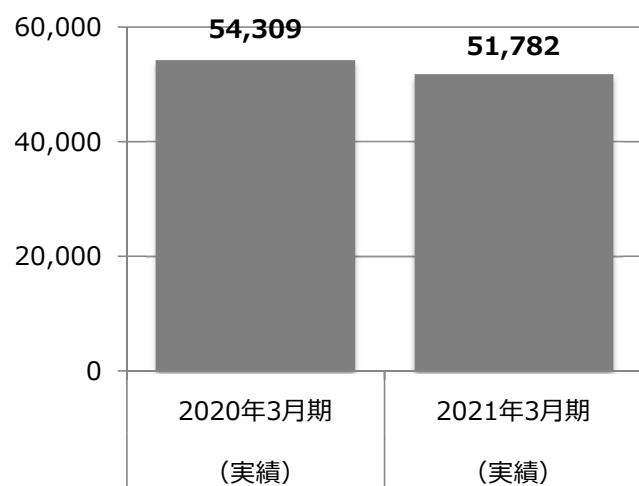
## (1) 連結業績

- 売上高は、2期ぶりの減収
- 営業利益・当期純利益は、2期ぶりの減益
- 経常利益は、3期連続の増益（過去最高）

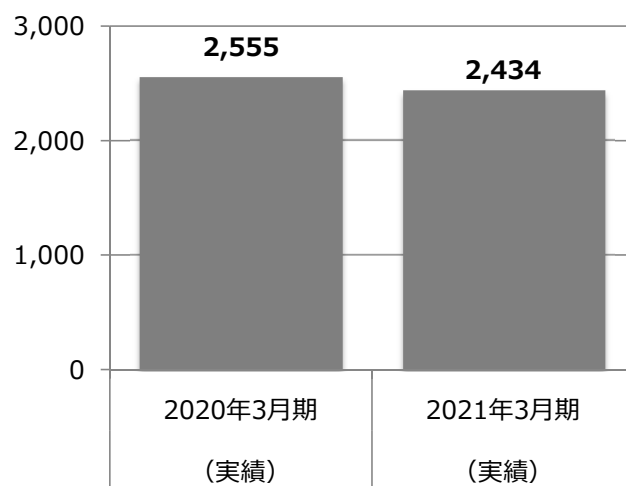
(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
売上高	54,309	51,782	△ 2,526	95.3
営業利益	2,555	2,434	△ 120	95.3
経常利益	2,754	2,812	57	102.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,657	1,603	△ 53	96.7
1株当たり当期純利益	137円33銭	132円86銭	△4円47銭	
包括利益	795	2,646	1,850	332.5

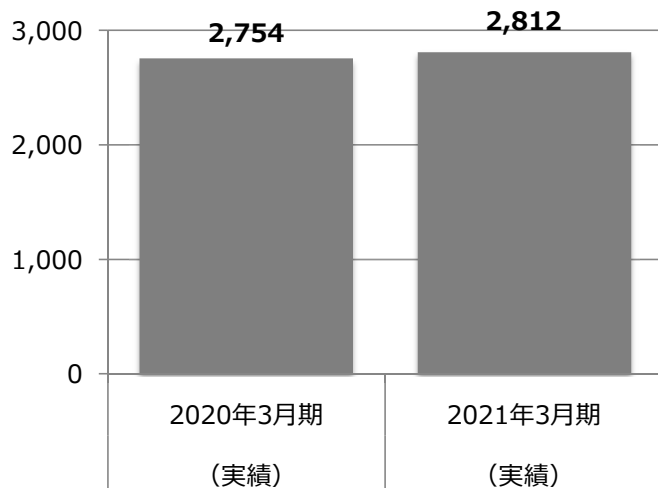
### 売上高



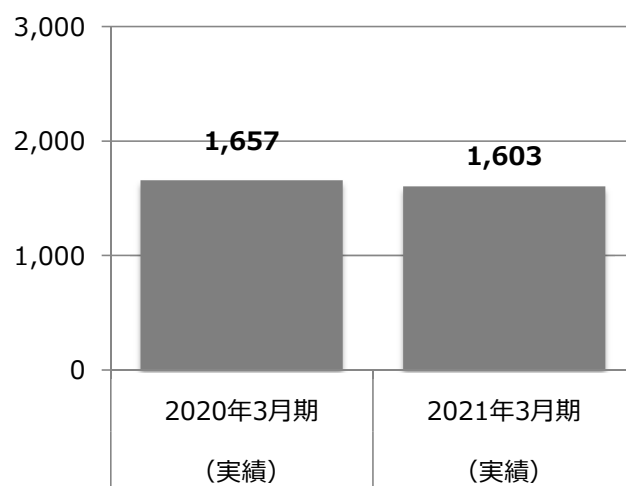
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



# 1. 連結決算の実績

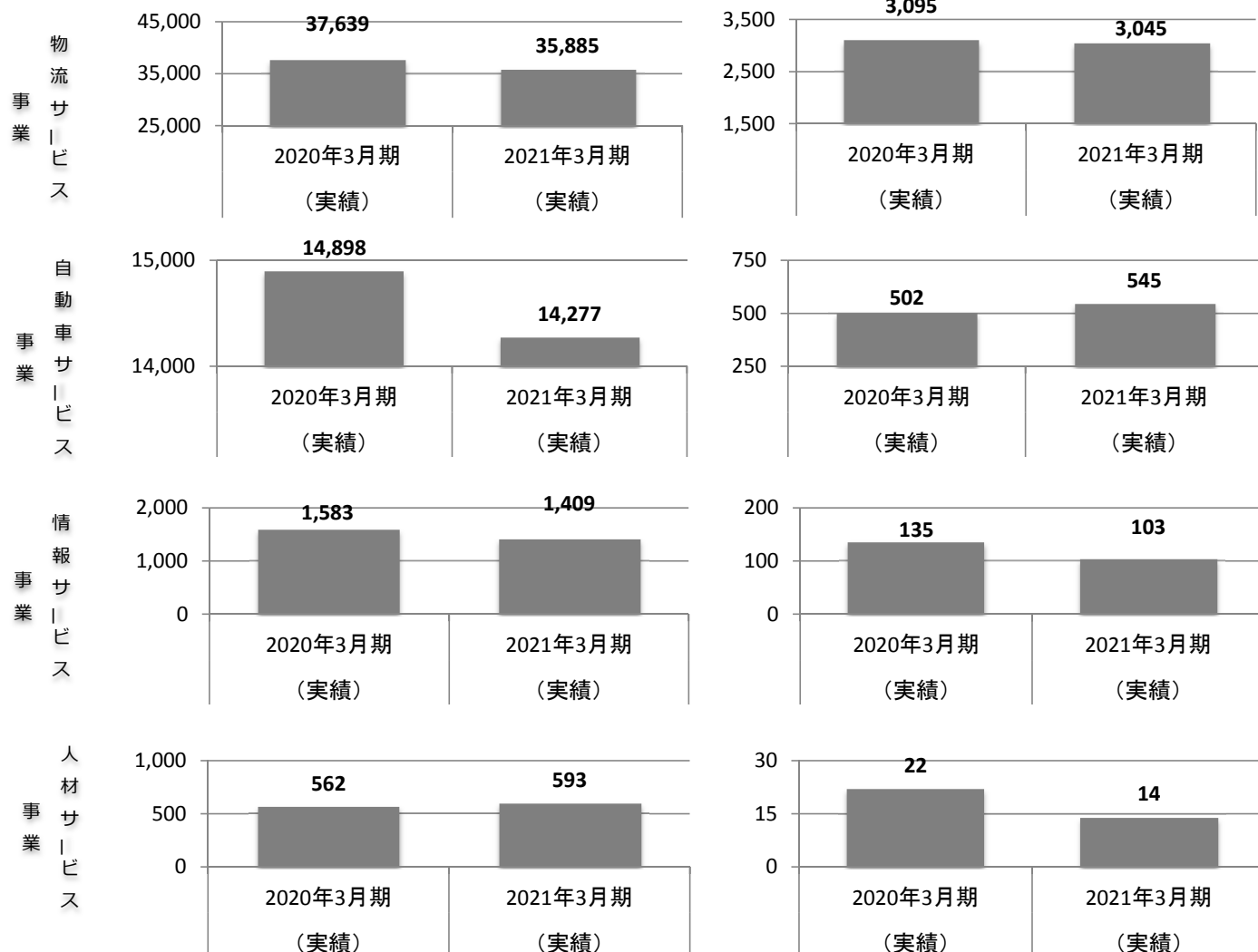
## (2) セグメント別業績

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
物流サービス事業	37,639	35,885	△ 1,754	95.3
自動車サービス事業	14,898	14,277	△ 621	95.8
情報サービス事業	1,583	1,409	△ 174	89.0
人材サービス事業	562	593	31	105.5
その他サービス事業	46	45	△ 0	98.4
小計	54,731	52,212	△ 2,519	95.4
消去又は全社	△ 422	△ 429	△ 7	-
売上高	54,309	51,782	△ 2,526	95.3
物流サービス事業	3,095	3,045	△ 49	98.4
自動車サービス事業	502	545	43	108.6
情報サービス事業	135	103	△ 31	76.7
人材サービス事業	22	14	△ 7	65.3
その他サービス事業	13	11	△ 1	85.9
小計	3,768	3,721	△ 47	98.7
消去又は全社	△ 1,213	△ 1,286	△ 73	-
営業利益	2,555	2,434	△ 120	95.3

### 売上高

### 営業利益



## 1. 連結決算の実績

### (3) 連結品目別売上高

(単位：百万円)

売上区分	売上品目	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
物流サービス事業	包装	32,405	31,894	△ 511	98.4
	格納器具製品	5,233	3,990	△ 1,243	76.2
		37,639	35,885	△ 1,754	95.3
自動車サービス事業	車両リース	7,333	7,237	△ 95	98.7
	車両整備	4,143	4,129	△ 13	99.7
	自動車販売	2,519	2,013	△ 505	79.9
	カー用品販売	202	200	△ 1	99.4
	保険手数料	636	655	18	102.9
	その他	63	39	△ 23	62.7
自動車サービス事業		14,898	14,277	△ 621	95.8
情報サービス事業		1,583	1,409	△ 174	89.0
人材サービス事業		562	593	31	105.5
その他サービス事業		46	45	△ 0	98.4
小計		54,731	52,212	△ 2,519	95.4
セグメント間売上相殺		△ 422	△ 429	△ 7	-
合計		54,309	51,782	△ 2,526	95.3

### (4) 財政状態

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
総資産	52,561	54,061	1,499	102.9
自己資本	27,482	29,421	1,938	107.1
自己資本比率(%)	52.3	54.4	2.1	
1株当たり純資産	2,277円23銭	2,437円90銭	160円67銭	

### (5) キャッシュ・フロー計算書について

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,805	3,238	△ 566	85.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,597	△ 402	1,195	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 794	△ 928	△ 133	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,684	6,035	1,351	128.8
現金及び現金同等物の期末残高	6,035	7,956	1,921	131.8

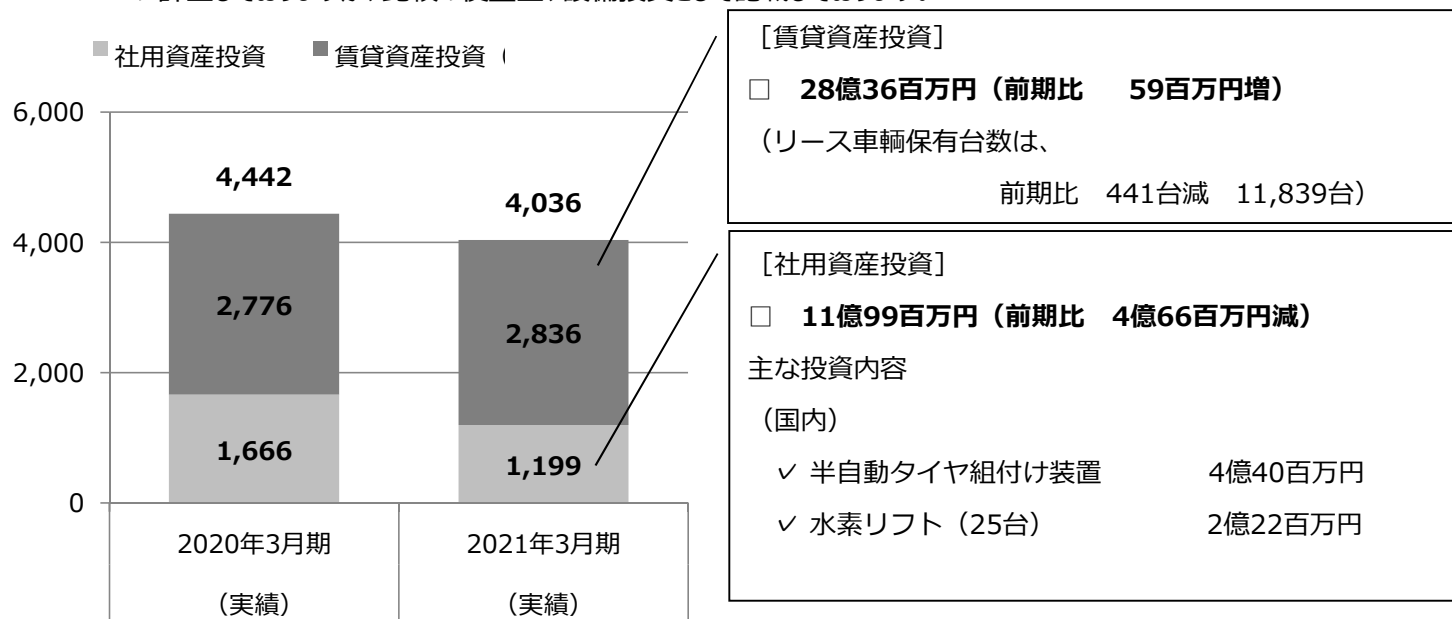
# 1. 連結決算の実績

## (6) 設備投資、減価償却費等の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
社用資産投資	1,666	1,199	△ 466	72.0
賃貸資産投資 (※)	2,776	2,836	59	102.1
設備投資計	4,442	4,036	△ 406	90.8
減価償却費	1,562	1,553	△ 8	99.5
リース車輛保有台数	12,280台	11,839台	△ 441台	96.4

(※) 賃貸資産投資につきましては、リース会計基準の改正により、リース用車輛の投資債権は、流動資産の「リース投資資産」に計上しておりますが、比較の便宜上、設備投資として記載しております。



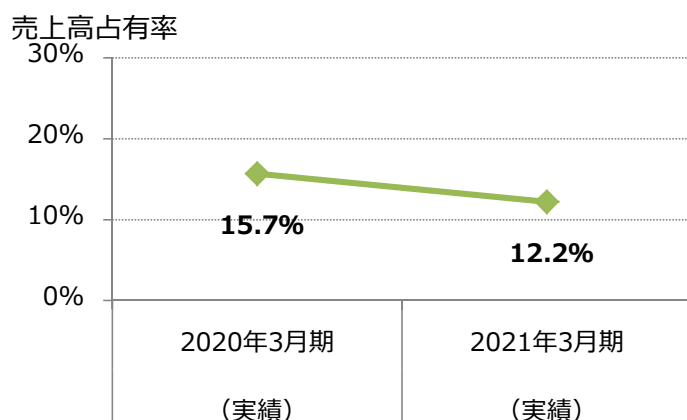
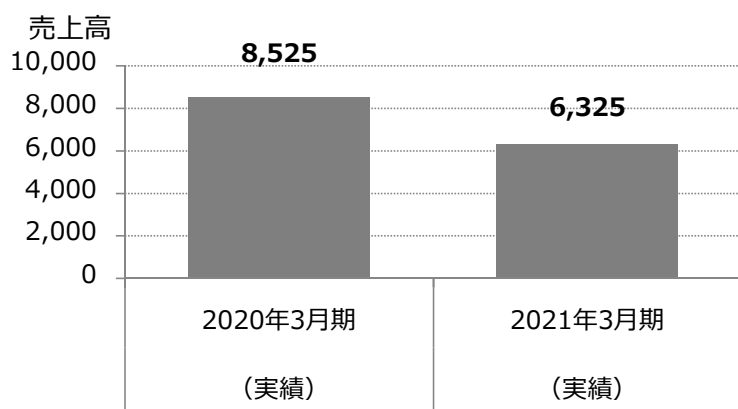
## (7) 海外子会社の取引状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
連結売上高	54,309	51,782	△ 2,526	95.3
海外子会社売上高	8,525	6,325	△ 2,199	74.2

連結売上に対する占率

海外子会社占有率	15.7%	12.2%	△3.5%	
----------	-------	-------	-------	--





# 1. 連結決算の実績

## (8) 主要取引先との取引状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
連結売上高	54,309	51,782	△ 2,526	95.3
トヨタ自動車(株)様 ※1	12,169	11,882	△ 286	97.6
トヨタグループ企業様 ※2	10,986	9,425	△ 1,561	85.8
合計	23,155	21,307	△ 1,847	92.0

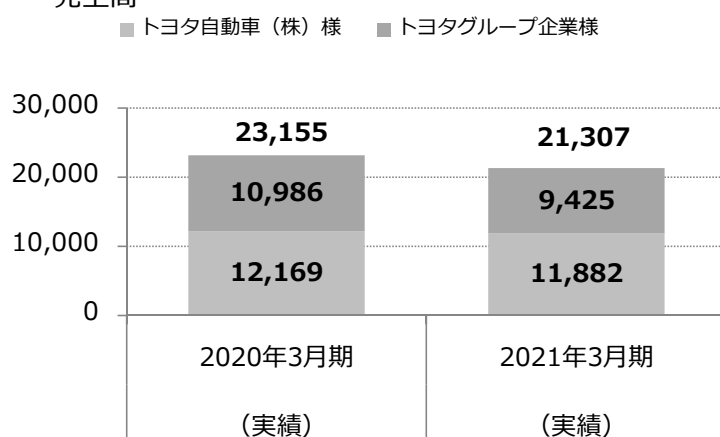
連結売上に対する占率

トヨタ自動車(株)様	22.4%	23.0%	0.5%	
トヨタグループ企業様	20.2%	18.2%	△2.0%	
合計	42.6%	41.2%	△1.5%	

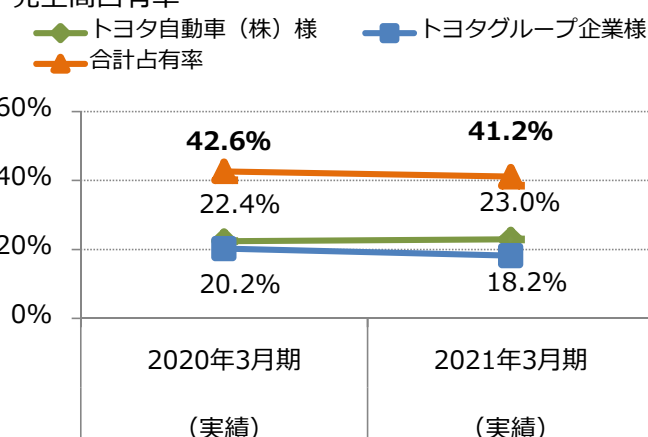
※1：2010年10月にトヨタ自動車(株)様から分離したトヨタホーム(株)様への売上金額は比較の便宜上、上記金額に含めております。

※2：トヨタグループ企業様の取引には、海外でのトヨタ自動車(株)様の現地子会社を含んでおります。

売上高



売上高占有率



## (9) N L S (ニューロジスティクスサービス) 事業の取引状況

(単位：百万円)

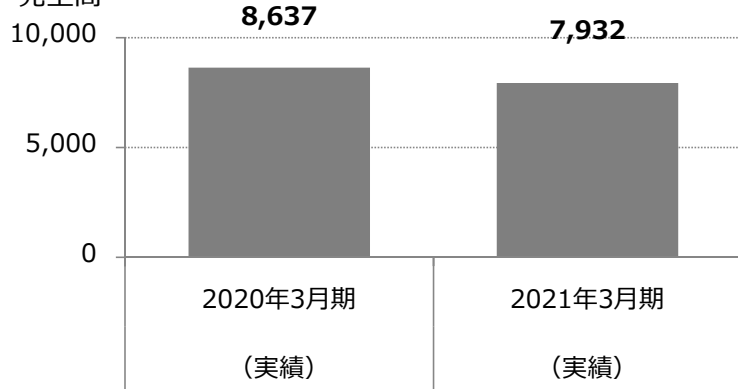
	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
連結売上高	54,309	51,782	△ 2,526	95.3
N L S 事業売上高	8,637	7,932	△ 704	91.8

連結売上に対する占率

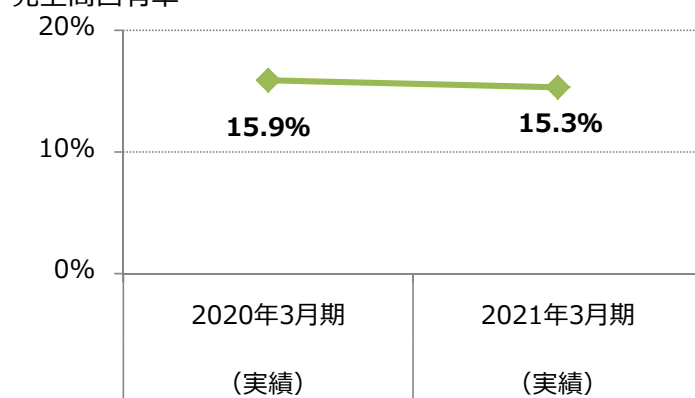
N L S 事業占有率	15.9%	15.3%	△0.6%	
-------------	-------	-------	-------	--

N L S 事業は、トヨタ関連以外のお客様をターゲットとしてサービスを提供する 3 P L (サード・パーティ・ロジスティクス) 事業のことです。

売上高



売上高占有率





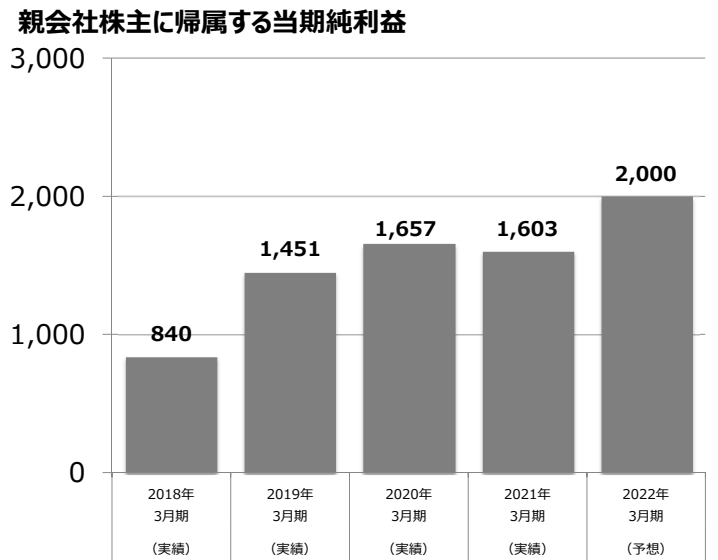
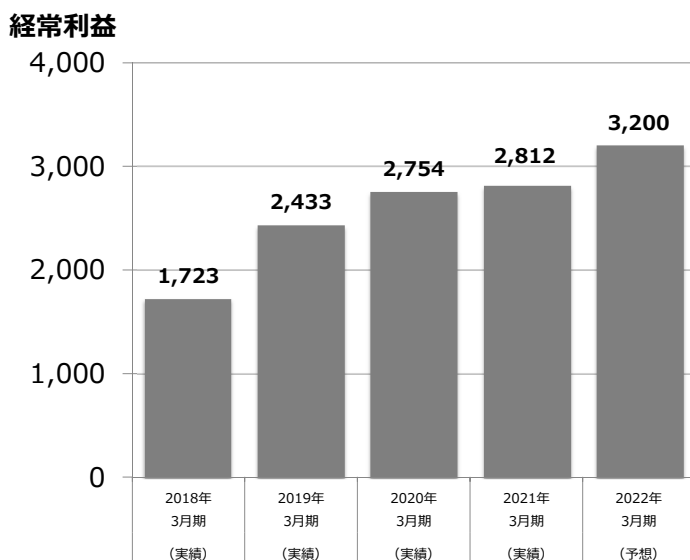
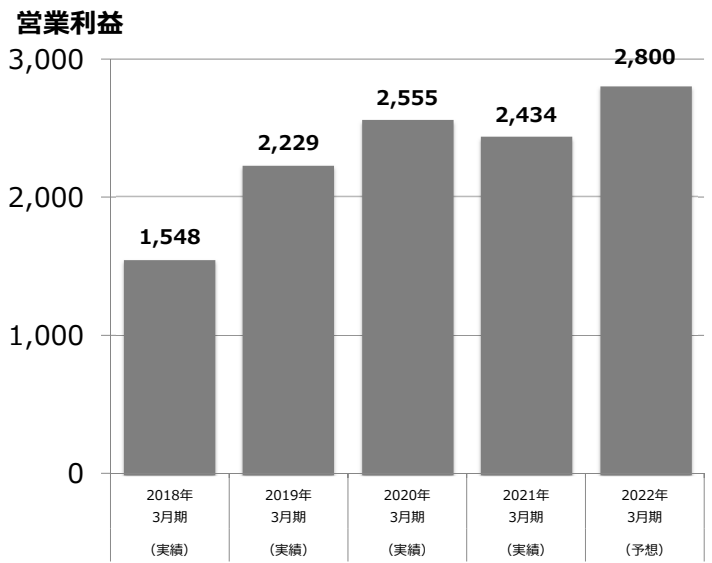
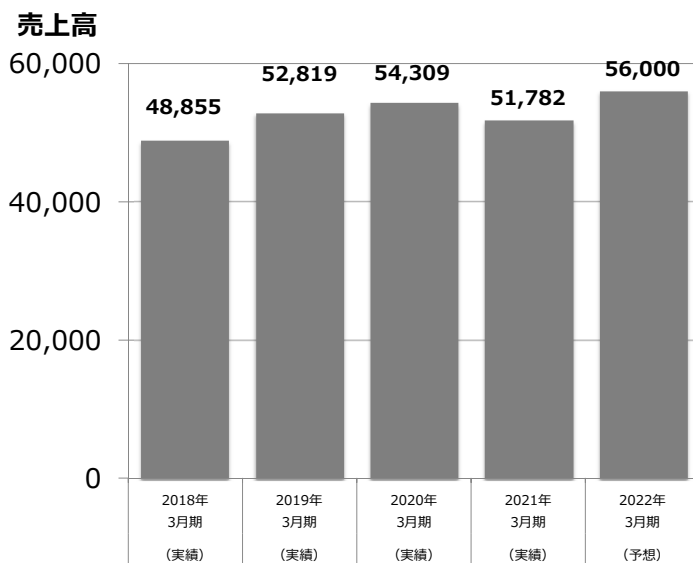
## 2. 連結決算の予想

### (1) 連結業績推移

- 売上高は、2期ぶりの増収を予想（過去最高）
- 営業利益・当期純利益は、2期ぶりの増益を予想（いずれも過去最高）
- 経常利益は、4期連続の増益を予想（過去最高）

(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
売上高	48,855	52,819	54,309	51,782	56,000	4,217	108.1
営業利益	1,548	2,229	2,555	2,434	2,800	365	115.0
経常利益	1,723	2,433	2,754	2,812	3,200	387	113.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	840	1,451	1,657	1,603	2,000	396	124.7
1株当たり当期純利益	69円68銭	120円27銭	137円33銭	132円86銭	165円72銭	32円86銭	



## 2. 連結決算の予想

### (2) セグメント別業績推移

(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
物流サービス事業	32,186	36,021	37,639	35,885	39,130	3,244	109.0
自動車サービス事業	15,092	15,029	14,898	14,277	14,565	287	102.0
情報サービス事業	1,400	1,599	1,583	1,409	1,680	270	119.2
人材サービス事業	537	559	562	593	1,380	786	232.4
その他サービス事業	47	44	46	45	45	△ 0	98.2
小計	49,264	53,254	54,731	52,212	56,800	4,587	108.8
消去又は全社	△ 409	△ 435	△ 422	△ 429	△ 800	△ 370	—
売上高	48,855	52,819	54,309	51,782	56,000	4,217	108.1
物流サービス事業	2,127	2,899	3,095	3,045	3,300	254	108.3
自動車サービス事業	367	300	502	545	700	154	128.3
情報サービス事業	152	168	135	103	170	66	163.9
人材サービス事業	△ 0	7	22	14	80	65	546.3
その他サービス事業	14	11	13	11	15	3	128.2
小計	2,662	3,387	3,768	3,721	4,265	543	114.6
消去又は全社	△ 1,113	△ 1,158	△ 1,213	△ 1,286	△ 1,465	△ 178	—
営業利益	1,548	2,229	2,555	2,434	2,800	365	115.0

### (3) 品目別業績推移

(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
包装	27,459	30,437	32,405	31,894	34,800	2,905	109.1
格納器具製品	4,727	5,584	5,233	3,990	4,330	339	108.5
物流サービス事業	32,186	36,021	37,639	35,885	39,130	3,244	109.0
車両リース	7,342	7,329	7,333	7,237	7,250	12	100.2
車両整備	4,028	4,027	4,143	4,129	4,530	400	109.7
自動車販売	2,801	2,757	2,519	2,013	1,780	△ 233	88.4
カー用品販売	209	213	202	200	220	19	109.5
保険手数料	649	637	636	655	700	44	106.8
その他	62	64	63	39	85	45	214.5
自動車サービス事業	15,092	15,029	14,898	14,277	14,565	287	102.0
情報サービス事業	1,400	1,599	1,583	1,409	1,680	270	119.2
人材サービス事業	537	559	562	593	1,380	786	232.4
その他サービス事業	47	44	46	45	45	△ 0	98.2
小計	49,264	53,254	54,731	52,212	56,800	4,587	108.8
セグメント間売上相殺	△ 409	△ 435	△ 422	△ 429	△ 800	△ 370	—
合計	48,855	52,819	54,309	51,782	56,000	4,217	108.1

## 2. 連結決算の予想

### (4) 設備投資、減価償却費等の予想

(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
社用資産投資	994	1,351	1,666	1,199	1,320	120	110.0
賃貸資産投資 (※)	2,935	2,830	2,776	2,836	4,100	1,263	144.5
設備投資計	3,930	4,182	4,442	4,036	5,420	1,383	134.3
減価償却費	1,375	1,424	1,562	1,553	1,590	36	102.3
リース車輛保有台数	13,483台	13,029台	12,280台	11,839台	12,000台	161台	101.4

(※) 賃貸資産投資につきましては、リース会計基準の改正により、リース用車輛の投資債権は、流動資産の「リース投資資産」に計上しておりますが、比較の便宜上、設備投資として記載しております。

#### 2022年3月期の主な設備投資内容

##### [賃貸資産投資]

- 41億00百万円 (前期比 12億63百万円増) を予想  
(リース車輛保有台数は、12,000台 前期比 161台増 を予想)

##### [社用資産投資]

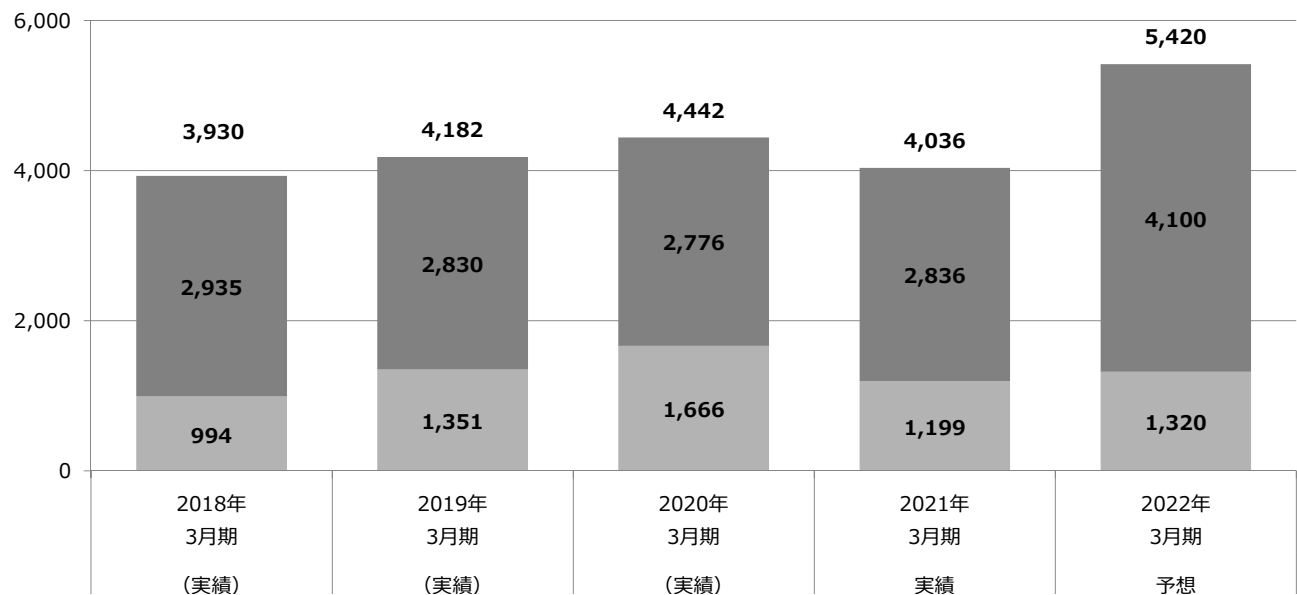
- 13億20百万円 (前期比 1億20百万円増) を予想

#### 主な投資内容

##### (国内)

- ・IT投資 3億円
  - ・レーザー加工機 3億円
- ##### (海外)
- ・中国子会社の物流器材 1億70百万円

■ 社用資産投資 ■ 賃貸資産投資



### 3. 1株当たり配当金推移

#### 【配当方針】

継続的な安定配当の実施を基本としつつ内部留保の充実に留意し、業績及び配当性向等を総合的に勘案して、配当政策を決定する。

#### 【2021年3月期 配当金】

- ・中間配当金は、1株当たり19円を実施
- ・期末配当金は、1株当たり19円に加え、創業140周年を迎えることが出来たことに対する記念配当2円を合わせた21円を実施予定
- ・年間配当金は、1株当たり40円を実施見通し

#### 【2022年3月期 配当予想】

- ・年間の配当金は、1株当たり40円（2021年3月期同様）を予定

